

Webサイトのユーザ経験(UX)設計方法の提案

南山大学

情報理工学部ソフトウェア工学科

2009SE087 伊藤 まどか

2009SE172 桃山 みなみ

指導教員 青山 幹雄

目次

- 前回までの内容
- アンケートの調査手法
- 定量調査
- 今後の予定
- 参考文献

前回までの内容

良いUXをもたらす3つの条件

機能

目標達成のために必要な機能を備えている

ユーザビリティ

使いやすく最小のステップで目標を実現できる

プラスの感情

プラスの感情を与える

アンケート項目のバランスを考えるにあたって

3

Peter morville氏によるUXのハニカム構造

機能

useful
有用

usable
使いやすい

desirable
魅力的

valuable
価値がある

findable
みつけやすい

accessible
誰もがみれる

credible
信頼できる

ユーザビリティ

プラスの感情

より詳細な構成要素を利用

アンケート調査手法(1/2)

定量調査

- ・何が起きているか, 収集されたデータを基に数値化することを想定した調査
- ・大量のサンプルで評価したり、数値を用いて証明
Ex) サーベイ, トラフィック分析, CRMデータの分析

定性的調査

- ・なぜ起きたかをユーザの言葉や行動, ことばや文章あるいは写真といった数値化できないデータの収集を目的とした調査
- ・少量のサンプルから新しい何かを発見
Ex) グループ・インタビュー, ユーザビリティテスト

定量調査

サーベイ	・ユーザにゴールや行動、態度を自己報告してもらう手法 既知と思われる事柄を検証するのに長けているのでペルソナ作成に利用
トラフィック分析	・ユーザがwebサイトで実際にどんな行動を行っているのかを知ることができる手法 サンプルではなくユーザベース全体の行動を把握する事が可能
CRMデータ分析	・顧客記録として取得済みのデータを吟味することでユーザに関する理解を深める手法 顧客記録:取引に関するデータ, 会計に関するデータ, 人口統計データ

今後の予定

- 1) PORTAの仮想ユーザを用いて登録手順の確認
- 2) 登録手順の状態遷移図の作成
- 3) アンケートの実施
- 4) アンケートの分析
- 5) ストーリの作成
- 6) ペルソナの優先順位付け
- 7) ストーリマッピング
- 8) 改善
- 9) 評価

参考文献

- アンケート調査と統計解析が分かる本
日本能率協会マネジメントセンター 酒井隆著
- Webサイト設計のためのペルソナ手法の教科書
毎日コミュニケーションズ Steve Mulder, Ziv Yaar著

Webサイトのユーザ経験 (UX) 設計 方法の提案